



いよいよ、2学期がスタートしました。子どもたちだけではなく“猛暑に耐える体ならし”が必要なのは…きっと私たち大人も同じですね。1年の中で最も長い2学期ですが、健康あつての毎日。体ならしをしつつ、まずはできることから一つ一つ…確実に進めていけるといいですね。

夏季休業中に行った「全国学力学習状況調査」や「標準学力調査」の分析をもとにした**改善のための取組を生かした授業改善**にも取り組んでいきましょう。私たち教職員は、担当している学年を“修正してもう一度”やり直せますが、子どもたちにとっては**“今が全て”**なのです。

“この子どもたちには今しかない” そう考えると、日々の授業でやるべきことが見えてきますね。全ての教育活動を通して、『**考え、議論する子どもたちの姿**』を実現していきましょう！！

★ 学習指導案検討・模擬授業を通して ★



3年生の子どもたちだったら、どう答えるだろう…

① 導入 → 課題意識をもたせるために…

- ◇ まる子のシルエットクイズは、子どもたちの興味・関心を惹きつける。
- ◇ アンケート項目が子どもたちの**身近にあることを想起させる内容**でよい。
- ◇ 「友達とずっと仲良くするために気を付けていることは何ですか。」

けんかをしないこと → ずっとなかよしでいるためにはどうしたらいいのかな。

★ **アンケート結果(日常との関わり)を生かして問題へ、思考の流れがスムーズ**

② 展開前段 → 子どもたちに教材をどう出合わせるか…

- ◆ 教材文を読む前の視点（3つ）が多く、**混乱が生じる可能性がある**。
「この教材でどのようなことを考えさせたいか」 → **視点を焦点化**
- ◆ 教材文を読んでいる時に、**適切なタイミング**で場面絵や短冊を提示する。
- ◆ 状況理解をさせるための押さえどころを精選 → **全ての子どもを同じ土俵に**

② 授業展開 → 教材を通して子どもたちに何を考えさせるか…

- ◆ 基本発問①の感想では、子どもの発言に反応しすぎず、自由に出させる。
- ◆ まる子の心の変容を捉えさせるために **♥** を使い、視覚的に分かりやすくする。
(例) たまちゃんが大切な約束を破った → 「大嫌い」 → **♥** をバラバラにおなべの場面ではっと… → バラバラの **♥** が少しずつ元に戻るイメージ
- ◆ 『**タイムカプセルを一緒に埋める**』 → **単なる約束ではないこともキー** ✨
- ◆ おなべの火の番を頼まれた時、何かに気付いたまる子の気持ち
→ 『**はっとした**』という言葉に関わる発言があれば、その声を拾う。
寒い風が吹いている中で、まる子のことを思うたまちゃんの気持ち

“相手を理解” この場面が道徳的価値に迫る入口 → 『哲学対話**』へのつながり**

- ◆ 中心発問の「**どうして二人ともなみだが止まらなかったのでしょうか。**」では、まる子、たまちゃんともに『**ひどいことをしてごめんね。**』が多く出てくる。

★ **“何が悪かったのか” “何のごめんなさいなのか” 理由付けにより相手の立場を理解**

分かり合えた

自分のことしか考えていなかった

大切な友達・一生の友達

※ **何を考え、議論させたいか、対話により深めさせたいか → 活動の目的を明確に
そのために…、「振り返し」から逆思考で子どもたちの思考の流れをイメージ**

- ◆ アンケートと教材を往還することで、問題を自分のこととして考えられる。

28日（木）に行った「3年生の模擬授業」では、多くのご意見ありがとうございました。

“**こう問われたら、子どもたちはどう反応するだろう**”と、先生方が実際に子どもたちの姿をイメージしながら考えてくださった時間は、授業者の大矢先生はもちろん、先生方それぞれの授業づくりに生かすことができる **“エッセンス”** が詰まっていました。『**子どもたちの思考の流れにそった授業**』には、意味のある発問が必要…私も多くのことを学ばせていただきました。

最後に…、模擬授業を終えた大矢先生が『**何だかワクワクしてきました** ✨』と、伝えてくださいました。**“先生自身が考えていると、ワクワクしてくる”** きっと素敵な授業になります！！



木下先生による『**哲学対話**』とは…

★ 『**哲学対話の目的**』 ★ → **考える力を育むことに焦点**

①自分たちで問いを考えていく ②道徳的価値を深めていく

『自由でいい』 → 子どもたちが安心して語れる雰囲気

★ **道徳科だけでなく、他教科でも『語る場』を取り入れる。**

**子どもの発言を
教師がファシリテート**